

事業計画書

事業名	矢切地区における子どもの遊び場創設事業
団体名	あそびパーク やきりの

事業概要

矢切地区で、①子育て世帯が子育てのし易さを実感でき、②子ども達の自主性や感性を引き出す事ができる、そんな遊び場・居場所をつくるために、プレーパークイベント、農体験イベントを実施する。③映画上映会を通して、地域全体で子どもへの理解・関心を高めるとともに、子育て世帯とそれ以外の立場の人で相互に理解し合える環境を作る。

取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）	①矢切地区には子育て支援に関する施設や相談機関、イベントが他地域と比べて少なく、子育てのしやすさを実感出来ていない。 ・乳幼児期に親子で過ごしたり、相談できる場が少ない。 ・子ども達が放課後に気軽に立ち寄れる児童館のような常設の施設がない。 ・不登校児が増加しているが日中に気軽に訪れる事が出来るフリースペースや居場所が少ない。親子ともに困難を抱えている家庭が多いと考える。 ②矢切地区には自然が残っている場所もあるがうまく活用されておらず、また子どもたちが自由に遊ぶことができる場や機会が少ない。 ・学校や公園等の遊び場には安全面や近隣への配慮等から制限が多く、子どもが自由に伸び伸びと遊ぶことが難しい。 ・子どもたちの農や自然に触れる機会が減少している。 ③子育て世帯とそれ以外の世帯との交流の場が減っており(子ども会の解散等)、双方の立場を理解し合う事が難しくなっている。
事業の目的	①矢切地区において子ども、子育て家庭が気軽に参加できる場や機会を増やすことで、子育てしやすいと実感できるようにする。 ②矢切の自然を生かした遊びやイベントを通じて、子どもたちの自主性や感性を引き出す機会を作り、かつその機会が不登校児にとっての居場所にもなり得るようにする。 ③地域住民に広く、子育てに関する情報や知見を届け、地域全体で子どもへの理解、意識を高めていくとともに、世代間の交流の場を生み出す。
事業内容	1 事業内容 ①プレーパーク:矢切地区にて、子ども・親子の遊び場・居場所となるプレーパークを休日に開催し(坂川親水広場(予定)、坂下ほんでん子どもの遊び場(予定))、また未就学児・不登校児の居場所となるように平日にも開催する(坂川親水広場(予定))。プレーパーク実施日には構成員が事前に、木工遊び、コマ遊び等が出来るスペースを可能な範囲で準備し、開催時間中は見守り役として場内に常駐する。 ②農体験イベント:子どもたちの農や自然に触れる機会として、矢切耕地にある坂下ほんでん子どもの遊び場内の畑(予定)にて農体験イベントを開催する。畑の管理方法や野菜栽培の監修を、外部講師として現役農業従事者に依頼する。講師には畑の植え付けの際実際に来てもらい、それ以外は都度相談役となってもらう。 ③プレーパークのドキュメンタリー映画「ゆめパの時間」上映会を実施する。

	2024 年に引き続き矢切幼稚園、松戸市教育委員会への協力・後援を仰ぐ。		
	2 スケジュール		
	※周知活動は下記その他、各イベント約 1 か月前に当団体 SNS 配信を行う。		
	実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
	4 月	①②③周知活動(チラシ 掲示・配架・SNS 配信)	実施体制：構成員、周知対象：地域住 民、周知場所：市民活動サポートセ ンター等/インスタグラム
		①②消耗品購入	実施体制：構成員
		③会場手配及び調整	実施体制：構成員
		①②プレーパーク【休日】 +農体験(畑での穴掘り兼 耕し)	実施体制：構成員、対象：地域の子 ども・住民、場所：坂下ほんでん子 どもの遊び場内畑(予定)
	5 月	①②プレーパーク【休日】 +農体験(畝づくり)	構成員、地域の子ども・住民、坂川親 水広場(予定)・坂下ほんでん子ども の遊び場内畑(予定)
		①②プレーパーク【休日】 +農体験(マルチ張り)	構成員、地域の子ども・住民、坂川親 水広場(予定)・坂下ほんでん子ども の遊び場内畑(予定)
	6 月	③映画「ゆめパの時間」 上映会	構成員、地域の子ども・住民、矢切幼 稚園(予定)
	9 月	①②プレーパーク【休日】 +農体験(植え付け)	構成員・外部講師、地域の子ども・住 民、坂川親水広場(予定)・坂下ほん でん子どもの遊び場内畑(予定)
	10 月	①プレーパーク【平日】	構成員、不登校児・未就学児、坂川親 水広場(予定)
	11 月	①②プレーパーク【休日】 +農体験(収穫)	構成員、地域の子ども・住民、坂川親 水広場(予定)・坂下ほんでん子ども の遊び場内畑(予定)
	2 月	①プレーパーク【平日】	構成員、不登校児・未就学児、坂川親 水広場(予定)
既存の事業から ステップアップ する部分 (ステップアッ プ助成のみ)			
事業の目標			
この遊び場・居場所が矢切地域市民に広く知られ、気軽に行くことができる 場所になることを目指す。また、子ども達が自己選択・自己決定をし、挑戦・ 失敗・成功の体験ができる場所に作る。			
①プレーパーク【平日】参加者 5 人/回 【休日】参加者 20 人/回			
②農体験イベント 4 回開催			
③映画上映会参加者 60 人/回			
今後の展望			
・遊び場・居場所を継続させるために、広報活動に力を入れる。また、他団 体との横のつながりを作っていく、ゆくゆくは、常設の基地となる場をつく り、世代を超えた矢切地域の遊び場・居場所として開放したい。			

事業の予算概要

【収 入】

(単位：円)

科 目		金 額	積算内訳
団 体	団体拠出金	¥ 6,000	事業費の一部を団体の会計より拠出
	イベント参加料	¥ 81,000	プレーパーク【平日】 5人×100円×2回 プレーパーク【休日】 20人×100円×5回 農体験 20人×100円×5回 映画上映会 60人×1000円
	自己資金の合計額 (A)	¥ 87,000	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	
合計額 (C) = (A + B)		¥ 187,000	

【支 出】

科 目		予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	使用料及び賃借料	¥ 60,000	映画使用料
	印刷製本費	¥ 11,000	上映会チラシ印刷3000部(印刷業者ラクスル):9,400円 アンケート印刷代:60部×10円(600円) 農体験チラシ印刷100部(印刷業者ラクスル):1,000円
	消耗品費	¥ 68,500	農体験 苗代:120株×110円=13,200円 黒マルチ材:6セット×400円=2,400円 マルチ抑え:200本×10円=2,000円 土嚢袋:200枚×30円=6,000円 剪定ハサミ:10本×200円=2,000円 麻紐:3巻×200円=600円 ビニール袋:60枚×5円=300円
			プレーパーク 資材・遊び道具:3,000円×7回=21,000円 参加者用お菓子:110人×100円=11,000円
			スコップ購入費:2,000円×5本
	報償費	¥ 30,000	外部講師謝礼(畑監修):30,000円/年
	対象経費の合計 (D)	¥ 169,500	
その他経費	食糧費	¥ 17,500	会員の昼食代:500円×5人×7回(平日プレーパーク時)
	その他経費の合計 (E)	¥ 17,500	
合計額 (F) = (D + E)		¥ 187,000	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が対象となる経費 (D) 欄の90%以内、自己資金 (A) 欄が対象経費 (D) 欄の10%以上であること。
- 2 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。